

令和4年度 茨城県へのふるさと納税（いばらき応援寄附金）の実績

本県へのふるさと納税に多くの皆さまからご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

令和4年度の寄附金の受入実績等をご報告します。

【令和4年度の寄附金の受入実績】

応援メニュー	件数（件）	寄附金額（千円）
災害ボランティア活動の支援	227	5,484
犬猫殺処分ゼロを維持する取組	355	7,930
がん対策の推進	68	1,387
働く親のための保育等人材確保	162	3,314
子どもたちの教育環境の充実	495	11,092
芸術・文化の振興	95	2,620
農林水産物のブランド化	174	3,707
その他県政全般	985	19,616
合計	2,550	55,148

※ 1件の寄附申込みで複数の応援メニューを選択した場合、それぞれの応援メニューに件数を計上し、寄附金額は按分して計上しています。また、寄附金額は表示単位未満を四捨五入しています。（各応援メニューの計と合計は一致しません。）

令和4年度 各応援メニューの分野における施策の実績

茨城県では、皆さまの応援をいただきながら、様々な施策に取り組んでいます。

令和4年度における茨城県の施策の実績の一例をご紹介します。

※ 事業費は令和4年度歳出事業費を記載しています。寄附金額と事業費とは必ずしも一致しませんのでご了承ください。

災害ボランティア活動の支援

茨城県では、様々な被災者支援の担い手と連携・協力し、災害ボランティアが活動しやすい環境を整備するなど、災害ボランティア活動の支援・促進に取り組んでいます。

皆様からお寄せいただいた寄附金は、「茨城県災害ボランティア活動支援基金」に積み立て、災害ボランティア活動支援事業に活用させていただきます。

令和4年度は、災害ボランティアセンターの運営を効率化するシステムの整備・運用などに活用しました。

【主な事業】

○ 茨城県災害ボランティア活動支援事業 [R4 事業費 13,013 千円]

(社福) 茨城県社会福祉協議会による災害ボランティアセンターの運営支援に資するシステム「いばらき型災害ボランティアセンター運営支援システム (IVOS)」の整備・運用等に対し補助を行い、災害ボランティアセンターを効率的に運用する環境を整備しました。

犬猫殺処分ゼロを維持する取組



茨城県では、「茨城県犬猫殺処分ゼロを目指す条例」に基づき、市町村や関係機関等と連携を強化し、犬猫の殺処分ゼロを維持する施策を推進しています。

地域猫活動等の普及啓発により茨城県動物指導センターへの収容頭数を減らすとともに、犬猫の譲渡推進などにより、令和元年度から譲渡適性があると判断できる犬猫の殺処分頭数ゼロを維持し、加えて令和3年度には譲渡適正のない犬についても殺処分ゼロを達成しておりましたが、令和4年度についても令和3年度と同様に殺処分ゼロを継続しました。

引き続き、飼い主への適正飼養等の普及啓発や収容動物の譲渡を推進し、犬猫殺処分ゼロを維持してまいります。

【主な事業】

○ 譲渡犬猫サポート事業 [R4 事業費 28,496 千円]

茨城県動物指導センターに収容された犬猫を譲り受け、新たな飼い主を探す活動を行っている団体等に、寄附金を活用して同センターから譲渡した犬猫 528 頭分の飼育管理費の一部を支援しました。また、同センターにおいて犬猫 147 頭の不妊去勢手術を行い譲渡につなげるとともに、同センターから譲渡した犬猫のうち、民間動物病院において実施された 722 頭の不妊去勢手術費用を支援しました。

がん対策の推進

茨城県では「茨城県がん検診を推進し、がんと向き合うための県民参療条例」等に基づき、がんによる死亡者数を減少させるとともに、がん患者とその家族を支援し、がんになっても安心して暮らすことができる社会を実現することを目指して、がん対策を推進しています。

皆さまからお寄せいただいた令和4年度の寄附金は、「茨城県がん対策基金」に積み立て、令和5年度以降に実施するがん対策推進事業に活用させていただきました。



【主な事業】

○ いばらきがん患者トータルサポート事業 [R4 事業費 33,657 千円]

がんの治療に伴う脱毛等により、がん患者さんの就労を含めた社会参加に支障が生じないよう、ウィッグや乳房補整具の購入・レンタル費用を補助して社会参加を支援しました。令和4年度にお寄せいただいた寄附金約138万円を活用して、令和5年度に69人のがん患者さんの社会参加をサポートしてまいります。

働く親のための保育等人材確保

子どものいる親が安心して働けるように、子育て支援サービスを充実するための、保育士や幼稚園教諭の復職支援などの財源に活用しました。

【主な事業】

○ 保育・幼児教育人材復職支援事業 [R4 事業費 6,956 千円]

保育士や幼稚園教諭の復職を支援し、保育・幼児教育人材の確保を図ることができました。

子どもたちの教育環境の充実

子どもたちの教育環境充実のため、少人数教育の拡充や私立高等学校等の授業料・入学料の減免など保護者負担の軽減事業の財源に活用しました。

【主な事業】

○ 少人数教育充実プラン推進事業 [R4 事業費 1,026,198 千円]

茨城県独自の少人数教育を実施し、県内すべての公立小中学校等で、「わかりやすく楽しい授業づくり」や「児童生徒に寄り添ったきめ細かな指導」の充実を図ることができました。

○ 私立高等学校等授業料等減免事業 [R4 事業費 156,937 千円]

私立高等学校等の生徒等が経済的理由によって教育機会を失うことがないよう、各私立高等学校等が行う授業料・入学金減免事業に対して補助を行い、保護者の教育費負担の軽減を図ることができました。

芸術・文化の振興

芸術・文化は、心の豊かさや活気に満ちた生活を創造するうえで大きな役割を果たします。寄附金は交流イベントの開催や、芸術・文化の振興事業の財源に活用しました。

【主な事業】

○ アーカス・プロジェクト推進事業 [R4 事業費 5,489 千円]

芸術を活かした地域づくりとして、アーティストへの創作活動の支援や様々な地域プログラムの実施などにより、人材の育成や身近に芸術を体験できる魅力ある地域づくりを図ることができました。

農林水産物のブランド化

茨城県は、全国上位の生産量を誇る農林水産物が数多くあります。

これらの豊富な農林水産物を、より多くの消費者の方々を知っていただくため、ブランド力の向上や、認知度を上げるためのPR活動の財源に活用しました。

【主な事業】

○ いばらき農林水産物ブランド確立販路開拓推進事業 [R4 事業費 27,894 千円]

重点的にブランド化を推進する「常陸牛」、「常陸の輝き」、「恵水」、「栗」、「イバラキング」について、メディア露出や高級店を中心とした戦略的な営業活動に取り組み、ブランド確立を図るとともに、県産農林水産物のさらなる認知度向上と販路拡大を図ることができました。

その他県政全般

茨城県では、「第2次茨城県総合計画～『新しい茨城』への挑戦～」に基づく政策・施策を着実に進め、基本理念として掲げる「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向けて取り組んでいます。

トピックス お礼の品で いばらき をPR

本県では、平成30年度から、県外在住の寄附者の皆様へのお礼の品として、メロンや常陸牛などの県産品を贈る取組を行っております。

この取組を通じて、本県の施策や県産品の認知度、魅力度、ブランド力のアップなどを行っています。



アールスメロン



常陸牛



豊水梨



ほしいも